

日本台湾学会 第12期第2回 会員総会 議事録(抄)

日時:2022年5月28日(土)16:20-17:00

法政大学市ヶ谷キャンパス G402 会議室および Webex オンライン会議

司会 星純子

議長:松田ヒロ子

書記:平井新

司会の星会員が議長及び書記の立候補を求めたところ、申し出がなかったため、松田会員が議長に、平井会員が書記に指名され、承認された。

報告

(1) 理事長報告:松田康博理事長

報告に先立ち、松田理事長より挨拶があり、大会実行委員会及び関係者、後援団体、参加者への感謝の言葉が述べられた。

続いて、新設された日本台湾学会学術賞、同特別賞の選考委員会の構成について説明が行われた。日本台湾学会賞の選考委員については現在調整中である。

(2) 事務局報告:川上桃子理事

2022年5月現在の会員数は494名(一般会員420名、学生会員63名、シニア会員11名)、賛助会員は8件であった。

(3) 総務担当報告:川上桃子理事

学会創設から25年近くが経ち、事務局の資料の量が増えているが、なかには個人情報保護の観点から取扱いに注意を要する文書がある。この状況に鑑み、今般、文書保存細則を作成し、第12期第2回理事会で承認を得た。

(4) 会計財務担当報告:山崎直也理事

2021年度の会費納入状況(5月20日付)について報告がなされた。納入率は、一般会員が69%、学生会員が51%、全会員平均66%。学会費のクレジットカード払いの準備状況について報告がなされた。6月1日から運用開始予定。

(5) 編集委員会報告:松金公正理事

『日本台湾学報』第24号では、第23回学術大会のシンポジウムの基調講演等のほか、10本の投稿のうち6本が採用され、書評10本とエッセイ1本も掲載される予定。

(6) 企画委員会報告: 富田哲理事

第 24 回大会の報告の募集は、10 月 17 日にいったん締切り、11 月 1 日まで延長した。分科会企画は 4 件(うち 1 件は台湾文学学会会員からの応募)が採択され、自由論題報告は 12 件の応募のなかから 11 件が採択された。

(7) 広報担当報告: 福田円理事

学会ホームページおよびブログの運営状況、メーリングリスト登録状況について報告がなされた。21 年 6 月に、学会ホームページのサーバーを SSL 対応のプランにアップグレードした。また、ウェブサイトの全面リニューアルを行った。ワードプレスが使用可能となり、ウェブ更新にかかる作業が効率的に行える見込み。

(8) 目録担当報告: 洪郁如理事

『戦後日本における台湾関係文献目録』については、この間、文献検索システム等が整備されたことに鑑み、常任理事会での議論を経て、廃止が決まった。蓄積されてきた目録の取り扱いについて、日本台湾交流協会と調整を進めている。

(9) 国際交流担当報告: 菅野敦志理事

対外発信プロジェクト(学会賞論文の英訳支援)、International Journal of Taiwan Studies 誌への書評の推薦、第 4 回 WCTS(台湾研究世界大会)への報告者の派遣、JCASA ニュースレターへの原稿提出について、活動報告がなされた。

(9) 定例研究会担当

- ・東京: 松岡格会員(川上会員が代理報告)より、第 150—152 回の定例研究会がオンラインで開催されたことが報告された。
- ・関西: 北波道子理事(川上会員が代理報告)より、研究大会が 2021 年 12 月 18 日にキャンパスプラザ京都にて開催されたことが報告された。2022 年度は、12 月 17 日に関西大学梅田キャンパスにおいてハイブリッド開催の予定。その際、関西部会 20 周年企画を予定している。
- ・台北: 田島真弓会員より、4 回の定例研究会が開催されたことが報告された。第 89 回は、新たな試みとして、修士論文を発表する場とした。

(10) その他: 学会ロゴの選定について

松田理事長より、日本台湾学会ロゴの作成に至る経緯について、説明がなされた。次いで赤松美和子理事が、ロゴデザインについての説明を行った。会員によるロゴの使用については、事務局に連絡を頂きたい。

議題

1. 2021 年度決算案と監査報告について

財務会計担当の山崎理事より決算案について、説明が行われた。実収入 2,414,775 円、実支出 2,989,253 円、赤字 574,478 円であった。支出項目のうち、ウェブサイトの拡充費の当初予算は 30 万円だったが、その後、大幅なりニューアルを行うこととなったため、69 万円増の 99 万円となった。

続いて伊藤信悟会員より会計監査報告が行われた。2021 年度の会計報告書および関連資料の監査を行い、これらが適正に表示されていることを確認した旨、報告された。

2021 年度決算案は異議なく承認された。

2. 2022 年度予算案について:山崎理事

財務会計担当の山崎理事より2022 年度予算案について説明が行われた。予算案は異議なく承認された。

3. 会計監査の選任について

理事会を代表して川上理事が、2022 年度からの会計監査として張文菁会員を推薦した。異議なく承認された。

4. 選挙管理委員の選任について

議長より選挙管理委員への立候補者を呼びかけたが、立候補者がいなかったため、第 11 期の選挙管理委員会を代表して、鈴木賢会員が、田中雄大、田畠真弓、吉田真悟の各会員を次期選挙管理委員に推薦した。異議なく承認された。

5. その他

富田企画委員長が、来年度大会に向けての応募の呼びかけを行った。松金編集委員長より、学会報への投稿が呼びかけられた。松田理事長より、第25 回大会については、開催校や日程等が決まり次第、ウェブサイト等を通じて報告するとの説明があった。

以上で予定されていた議事は全て終了し、司会の星会員が閉会を宣言した。